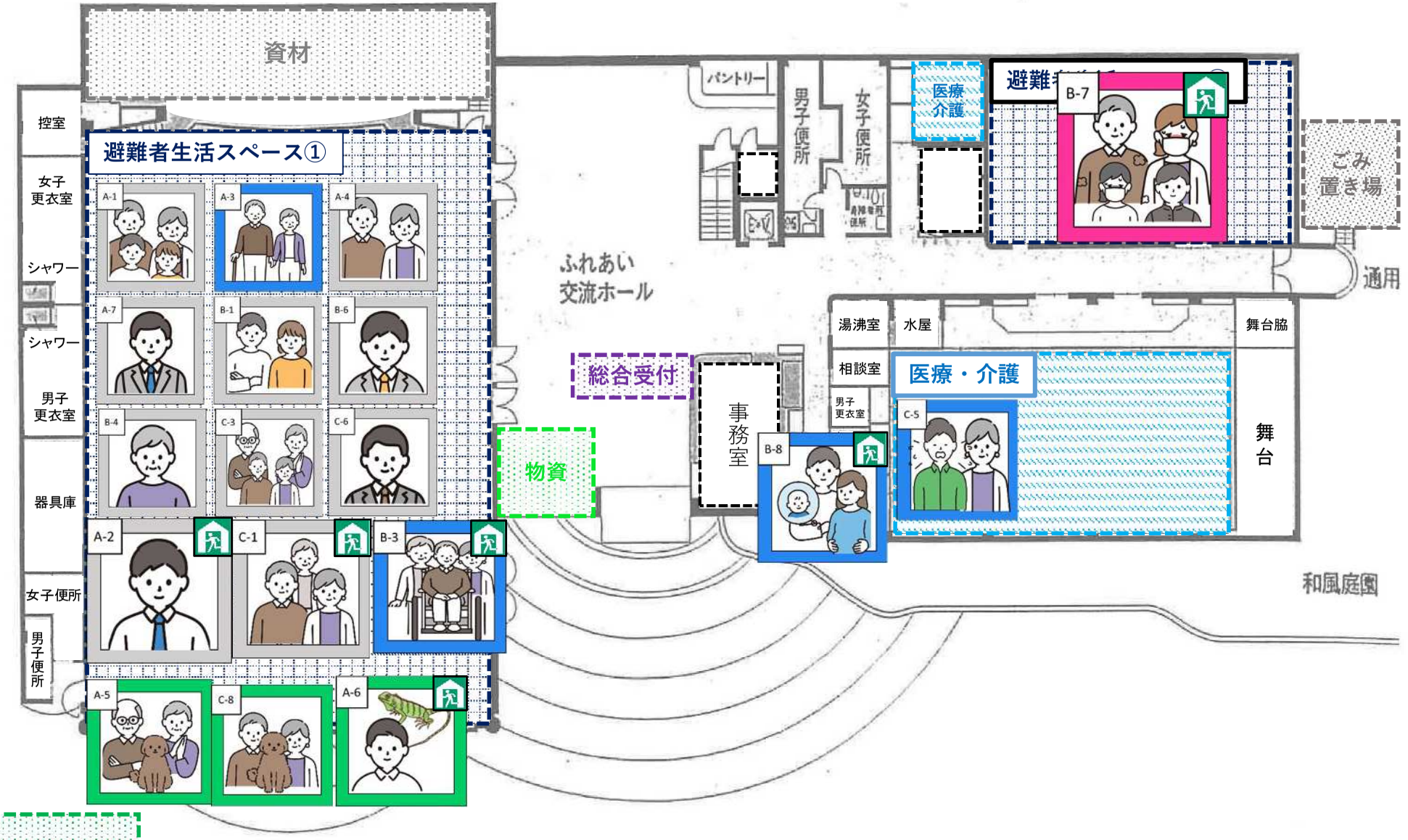
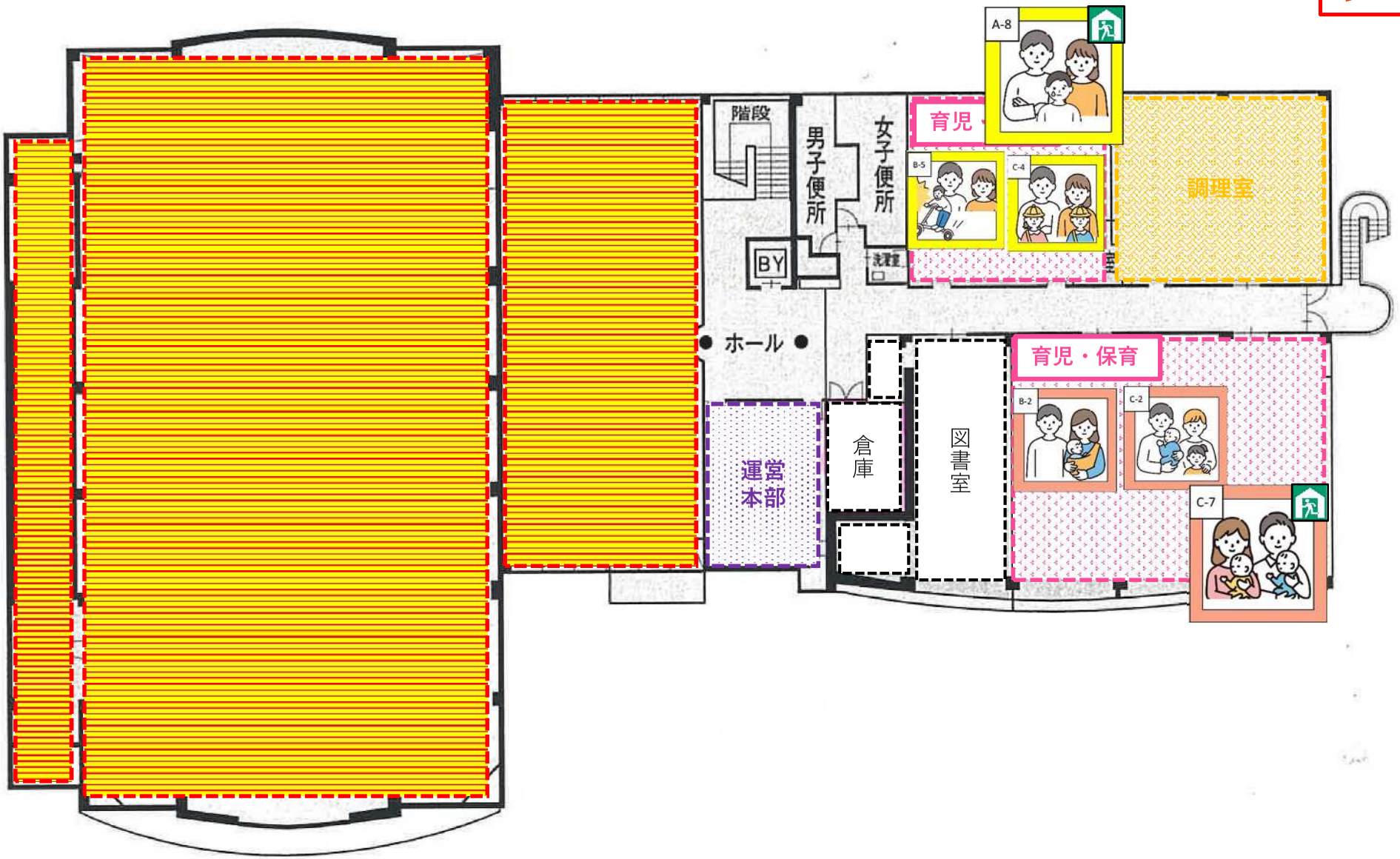
白鳥コミュニティセンター１階

A



白鳥コミュニティセンター２階

A



A

No. 1　要配慮者支援班の課題

動線が狭く、車いすでの移動が難しい。

課題を細分化すると…

ポイント

常に一定以上の幅を確保し、施設の必要な場所まで移動できるようにする。

解決に向けての方向性

①確保する通路スペースを明示する。

②避難者全体に、区切ったスペースの意図を周知し、物を置かないことを徹底させる。

解決策

①このスペースに物を置かないよう、テープ（はっきりした色）で床に貼る。
動線をはっきりさせる。（動線を短くさせる。）

②車いすを置く場所もテープで見て分かるように車いすマークを貼ることで、全員に分かるようにする。
受付や本部、出入口付近のみんなが見るスペースに掲示しておく。

A

No. 2　保健・衛生班の課題

同行避難してきたペットのスペースが、ごみ収集車の作業場所に近いため、ペットのストレスになっている。別の場所への移動を検討したい。

ポイント
　ペット受入場所とごみ収集車が干渉しないようにする。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①ペット受入場所とごみ置き場の位置の再検討

②ごみ収集車の作業ルートを決める。

解決策

①ペット受入場所を体育館外に移動する。
ごみ置き場はそのままにする。

②ごみ収集車は変更必要なし。

A

No. 3　保健・衛生班の課題

避難所開設後数日たったこともあり、体調不良者が出始めた。
避難者が健康に生活できるよう工夫したい。

課題を細分化すると…

ポイント
何をいつ行うか、どこで行うかなどを定める。

解決に向けての方向性

①換気や運動などの内容、場所、時間の設定。

②避難所の健康管理スペースの設置。

解決策

ラジオ体操など行う。
子どもたちにも参加するよう促し、交流を通じて大人子どもともにリフレッシュを図る。

避難者の自主参加で行う。

A

No. 4 区長、自主防災会長、保健・衛生班の課題

トイレの清掃に関して、保健・衛生班のみでは他の業務もあり、負担が大きい。

課題を細分化すると…

ポイント
トイレ清掃は男女１名づつ出す必要がある。

自分で使ったものは自分で片付ける。
トイレを増やすとトイレ掃除、当番制、自治会で役割

解決に向けての方向性

①避難者をどのように分担するのか。

②トイレの数、配置場所

事前に自治会ごとにルールを決めておく。
　指針を作る↓
緊急時にどうするか？
①自治会A、Bの担当にする　や
②避難者に協力

解決策

①自治会ごとに避難所開設時にトイレの掃除や役割を担うルールを伝えておく。災害時、指針を考えておくとパニックにならないのではないか。

②要配慮者用トイレを事務所に作る。体育館器具庫や、更衣室にもトイレを設置。健常者はできるだけ使用後、自分で片付ける。汚れる場合もあるので、トイレ掃除班を作る。

A

No. 5　食料・物資班の課題

食料に不足が出な
１日の消費量を把

過去の災害から、データを
把握できないか。
↓
最大数、必要数を考えていく。

ポイント
　食料は人数×３食、乳児は１日に粉ミルク１箱（10回分）で計算する。

課題

受付表をあらかじめ日避難所に設置する。

名簿から人数把握する。
名簿作成の時、きっちり人数を記入

解決に向けての方向性

①人数をどのように把握するか

②名簿をどのように準備するか

名簿のテンプレートを用意しておく。
・避難所登録票

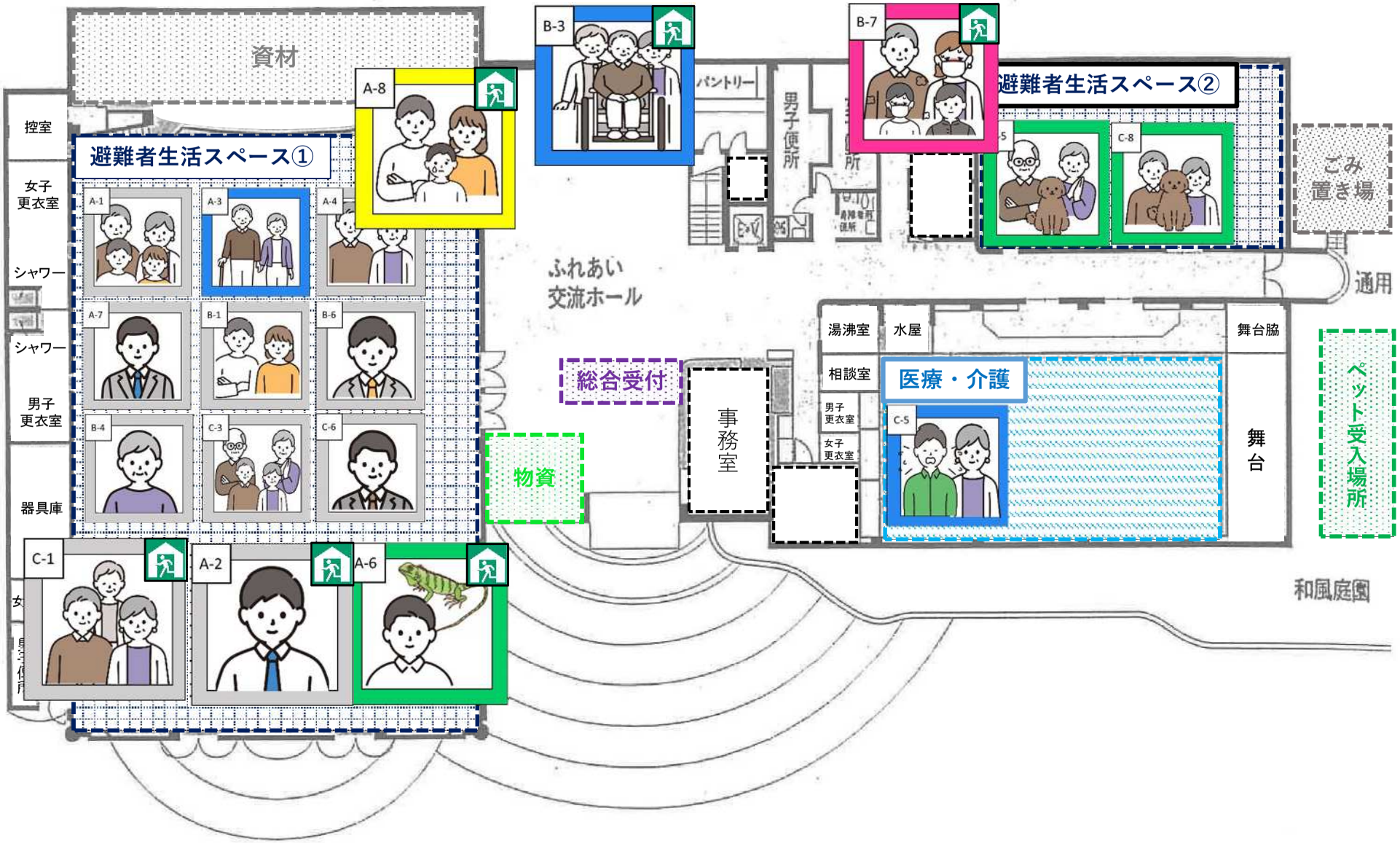
解決策

①受付で、名簿作成時、数字を明確に記入する。
受付した人に、目印となるテープを貼ってもらい、未受付者に受付に来てもらうようにする。

②避難所に名簿を用意しておき、緊急時にすぐ利用できるようにする。
避難所登録票を各家庭に配り、記入しておいてもらい、持ってきてもらう。

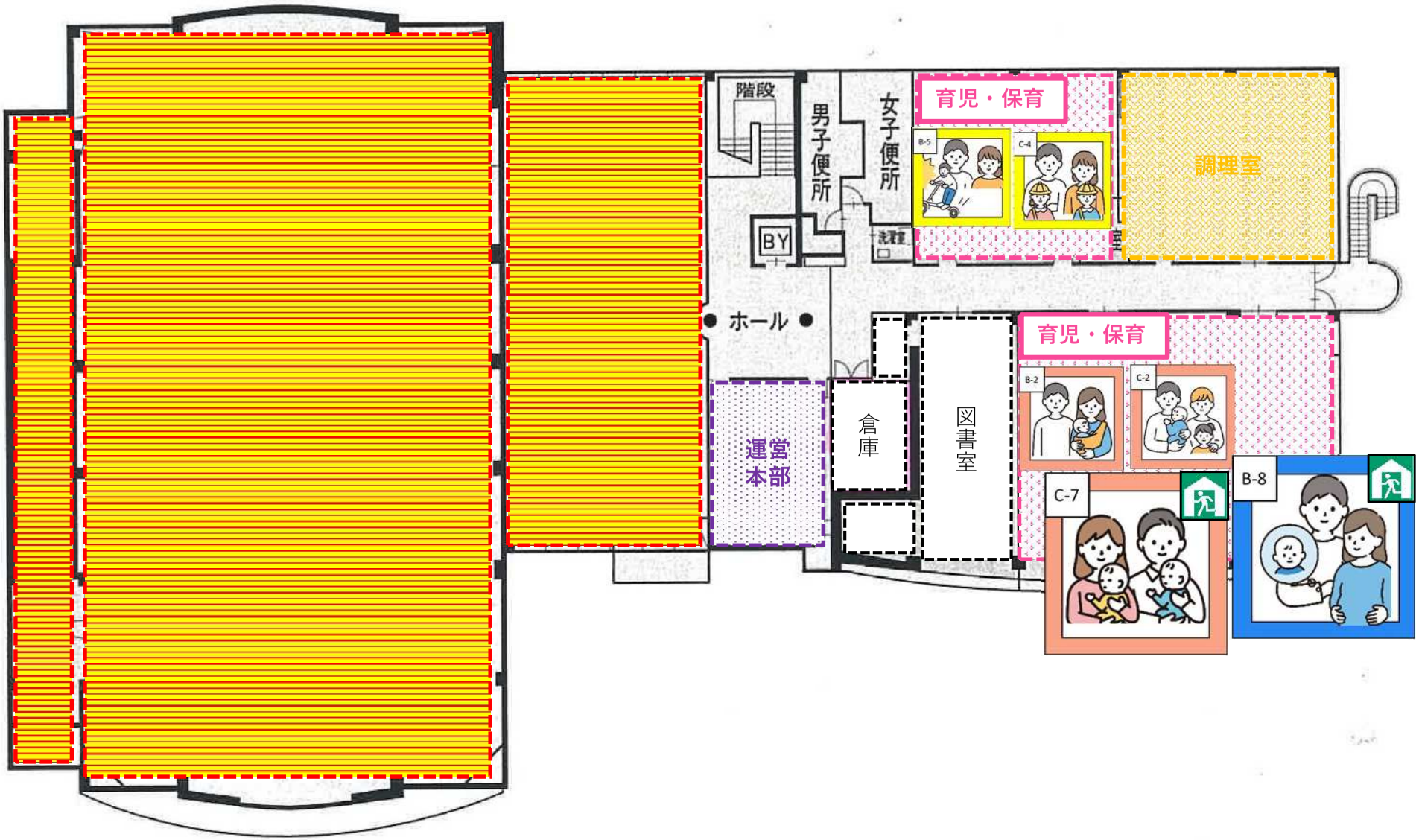
白鳥コミュニティセンター１階

B



白鳥コミュニティセンター２階

B



B

No. 1　要配慮者支援班の課題

動線が狭く、車いすでの移動が難しい。

課題を細分化すると…

ポイント

常に一定以上の幅を確保し、施設の必要な場所まで移動できるようにする。

解決に向けての方向性

①確保する通路スペースを明示する。

②避難者全体に、区切ったスペースの意図を周知し、物を置かないことを徹底させる。

解決策

ガムテープでバミる

トイレをポータルサイトにして移動を少なくする

B

No. 2　保健・衛生班の課題

同行避難してきたペットのスペースが、ごみ収集車の作業場所に近いため、ペットのストレスになっている。別の場所への移動を検討したい。

ポイント
ペット受入場所とごみ収集車が干渉しないようにする。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①ペット受入場所とごみ置き場の位置の再検討

②ごみ収集車の作業ルートを決める。

解決策

ペットスペースを多くする。

遠い方の自転車置き場に移す。

ごみ置き場を変える

B

No. 3　保健・衛生班の課題

避難所開設後数日たったこともあり、体調不良者が出始めた。避難者が健康に生活できるよう工夫したい。

ポイント
　何をいつ行うか、どこで行うかなどを定める。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①換気や運動などの内容、場所、時間の設定。

②避難所の健康管理スペースの設置。

解決策

時間を決めてラジオ体操をする（みんなで）（グランドを使用）

換気を決まった時間にする

B

決められた量を皆さんにいきわたるようにする

No. 4 区長、自主防災会長、保健・衛生班の課題

トイレの清掃に関して、保健・衛生班のみでは他の業務もあり、負担が大きい。

課題を細分化すると…

ポイント
　トイレ清掃は男女１名づつ出す必要がある。

解決に向けての方向性

解決策

当番制でトイレ掃除をする

B

No. 5　食料・物資班の課題

食料に不足が出ないよう、
１日の消費量を把握したい。

課題を細分化すると…

ポイント
　食料は人数×３食、乳児は１日に粉ミルク１箱（10回分）で計算する。

解決に向けての方向性

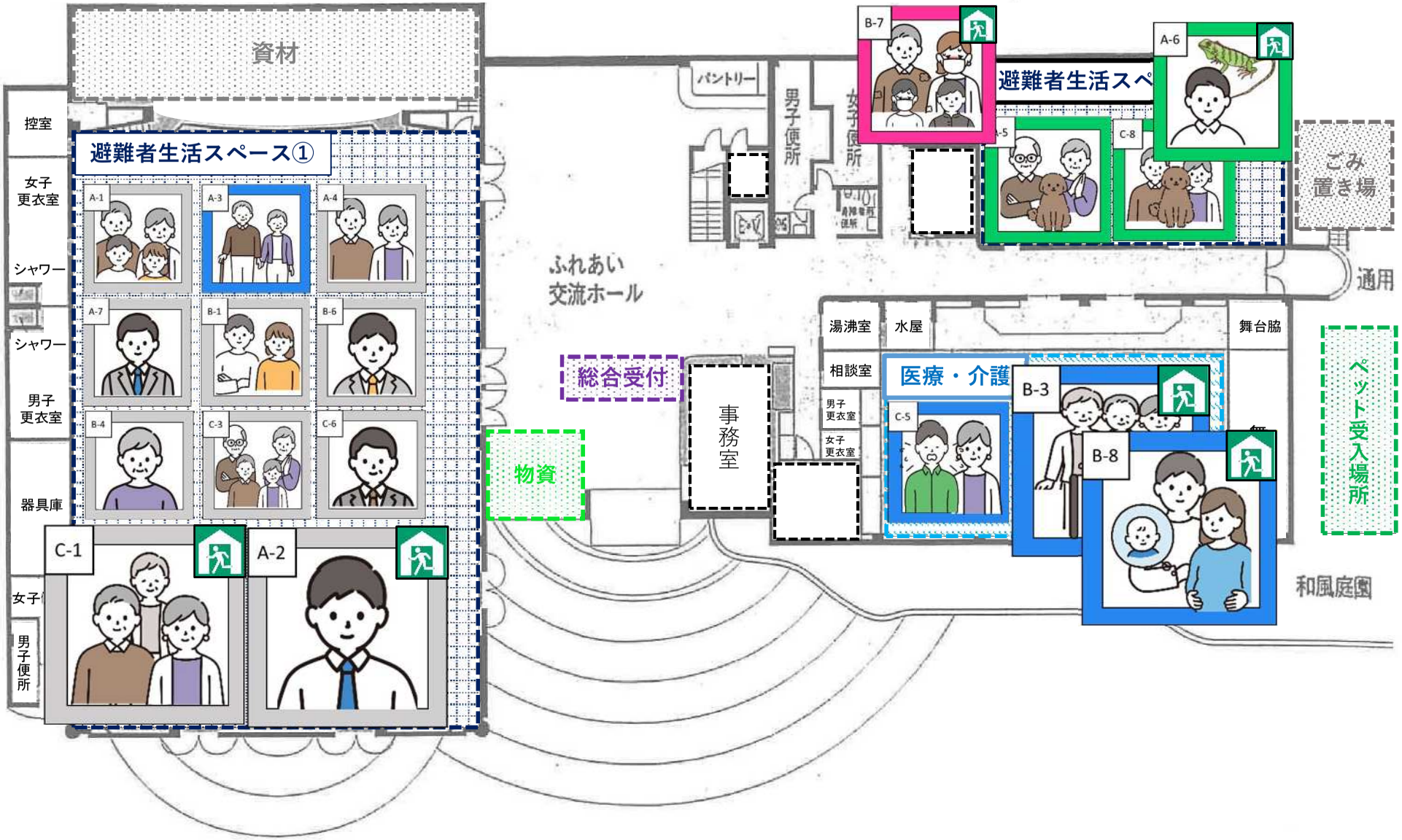
決められた量を皆さんにいきわたるようにする

解決策

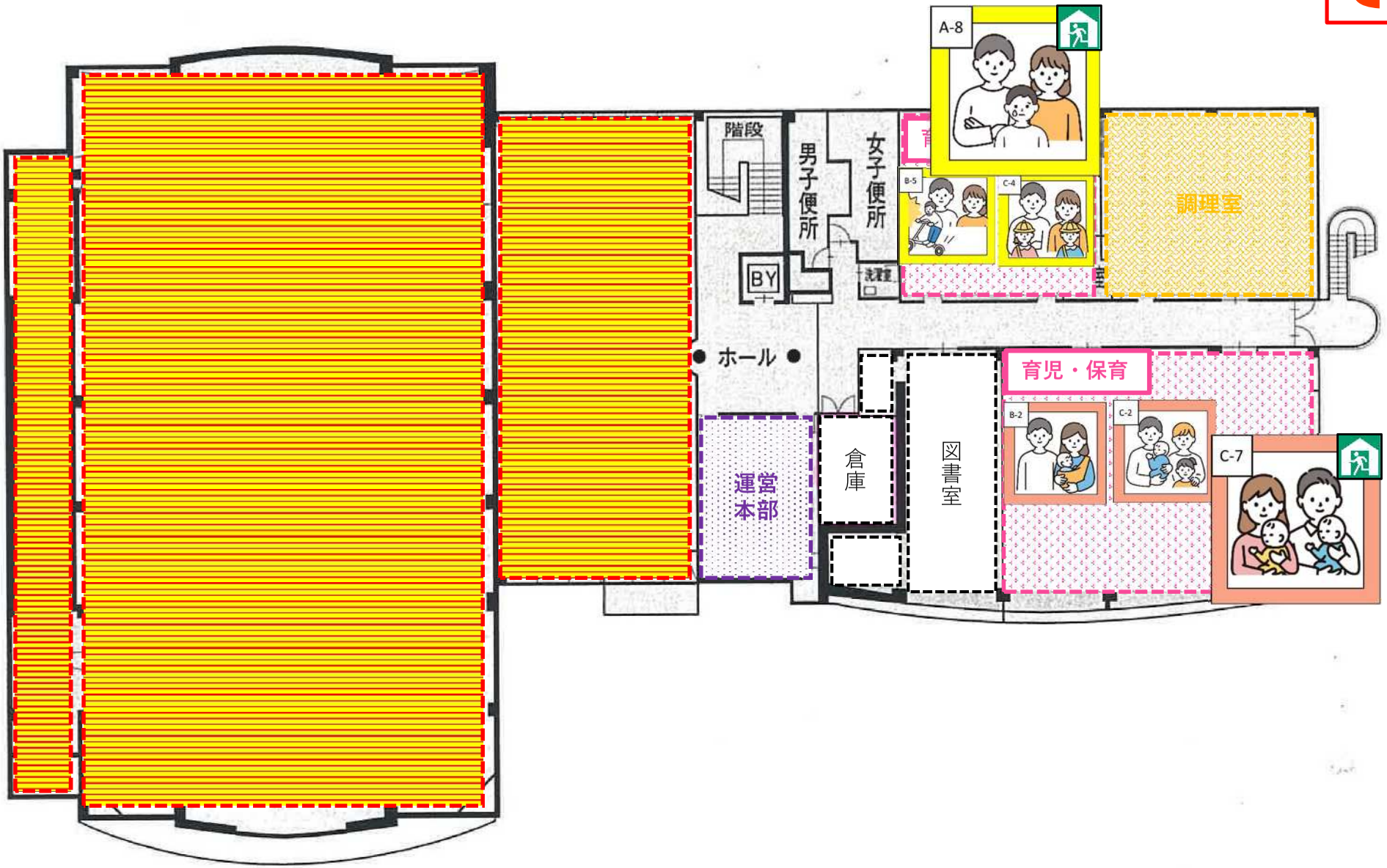
平常時にチェックリストを作っておく。
見えるようにしておく。

カードを作り、一人１日３個までというようにし、ハンコを押す。

白鳥コミュニティセンター１階



白鳥コミュニティセンター２階



C

No. 1　要配慮者支援班の課題

動線が狭く、車いすでの移動が難しい。

課題を細分化すると…

ポイント

常に一定以上の幅を確保し、施設の必要な場所まで移動できるようにする。

解決に向けての方向性

①確保する通路スペースを明示する。

②避難者全体に、区切ったスペースの意図を周知し、物を置かないことを徹底させる。

子どもに分かりやすいように表示する。

解決策

標示を設置する区画を色分けする

ルールを決めて明示する。

施設の利用できる備品、作業中（トイレなど）の立て看板、セーフティーコーンを活用する

C

No. 2　保健・衛生班の課題

同行避難してきたペットのスペースが、ごみ収集車の作業場所に近いため、ペットのストレスになっている。別の場所への移動を検討したい。

ポイント
ペット受入場所とごみ収集車が干渉しないようにする。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①ペット受入場所とごみ置き場の位置の再検討

②ごみ収集車の作業ルートを決める。

解決策

ごみ置き場の位置を移動させる

収集車の積みやすい位置に設置する

C

No. 3　保健・衛生班の課題

避難所開設後数日たったこともあり、体調不良者が出始めた。避難者が健康に生活できるよう工夫したい。

ポイント
　何をいつ行うか、どこで行うかなどを定める。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①換気や運動などの内容、場所、時間の設定。

②避難所の健康管理スペースの設置。

解決策

定期的に窓を開ける

毎朝体操をする

運動する場所を作る

C

No. 4 区長、自主防災会長、保健・衛生班の課題

トイレの清掃に関して、保健・衛生班のみでは他の業務もあり、負担が大きい。

課題を細分化すると…

ポイント
トイレ清掃は男女１名づつ出す必要がある。

解決に向けての方向性

当番を決めて定期的に掃除する

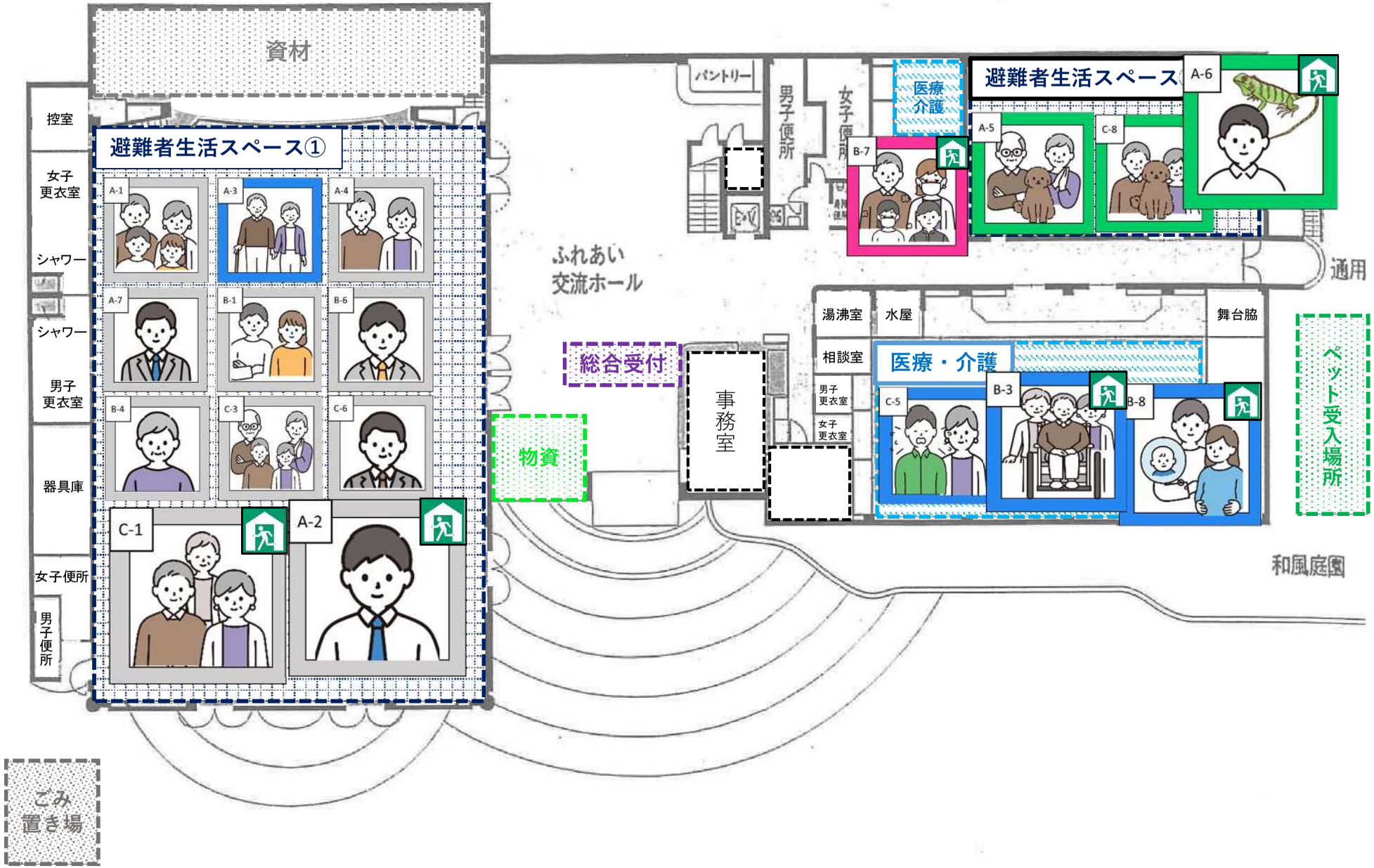
地区ごとに輪番制で掃除する

掃除の手順を決めて明示する

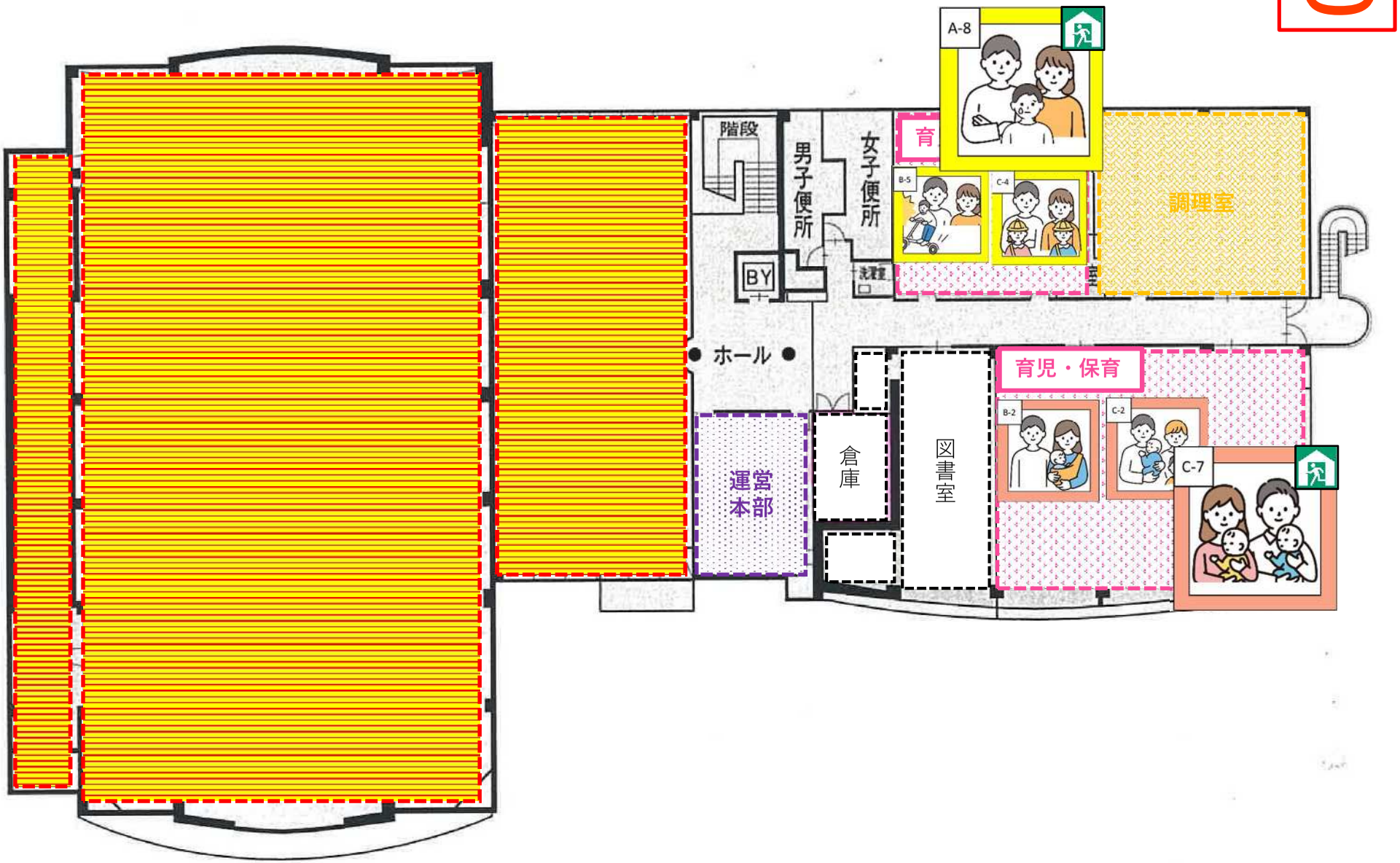
解決策

トイレ洗浄用の水（雨）を確保する

白鳥コミュニティセンター１階



白鳥コミュニティセンター２階



D

No. 1　要配慮者支援班の課題

動線が狭く、車いすでの移動が難しい。

課題を細分化すると…

ポイント

常に一定以上の幅を確保し、施設の必要な場所まで移動できるようにする。

解決に向けての方向性

①確保する通路スペースを明示する。

②避難者全体に、区切ったスペースの意図を周知し、物を置かないことを徹底させる。

解決策

通路表示を特定のマークで作り掲示する。

代表者を通じ、伝達する

物の置き場を作る

物を置かないことの伝達

D

No. 2　保健・衛生班の課題

同行避難してきたペットのスペースが、ごみ収集車の作業場所に近いため、ペットのストレスになっている。別の場所への移動を検討したい。

ポイント
　ペット受入場所とごみ収集車が干渉しないようにする。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①ペット受入場所とごみ置き場の位置の再検討

②ごみ収集車の作業ルートを決める。

解決策

ごみ置き場を逆に動かす

D

No. 3　保健・衛生班の課題

避難所開設後数日たったこともあり、体調不良者が出始めた。避難者が健康に生活できるよう工夫したい。

ポイント
何をいつ行うか、どこで行うかなどを定める。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①換気や運動などの内容、場所、時間の設定。

②避難所の健康管理スペースの設置。

解決策

換気（1回/1ｈ）

ふれあい交流ホールで運動、ラジオ体操など

日々体調確認

D

No. 4　区長、自主防災会長、保健・衛生班の課題

トイレの清掃に関して、保健・衛生班のみでは他の業務もあり、負担が大きい。

課題を細分化すると…

ポイント
　トイレ清掃は男女１名づつ出す必要がある。

解決に向けての方向性

当番制とする

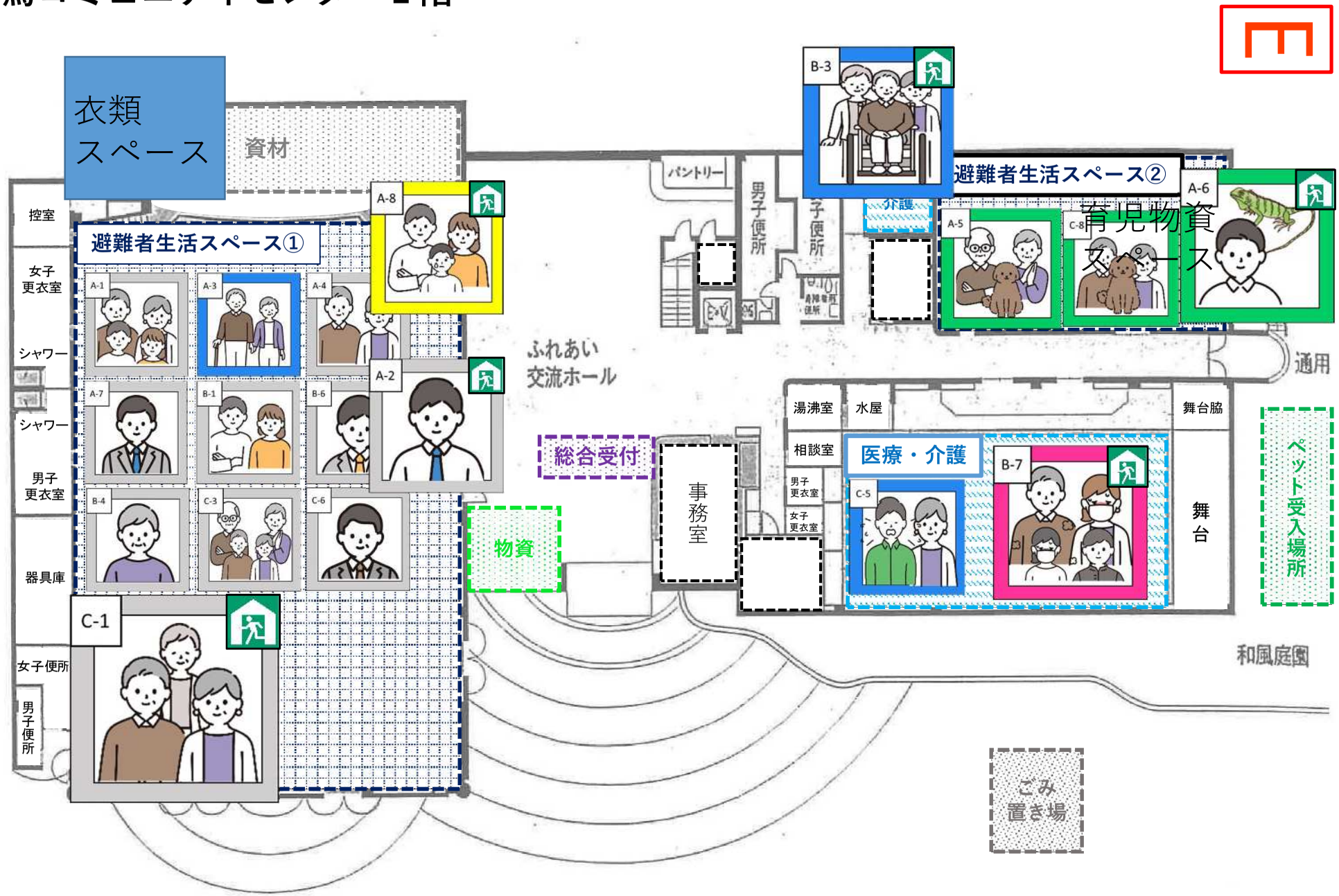
実働人数と、男女の人数を把握する

解決策

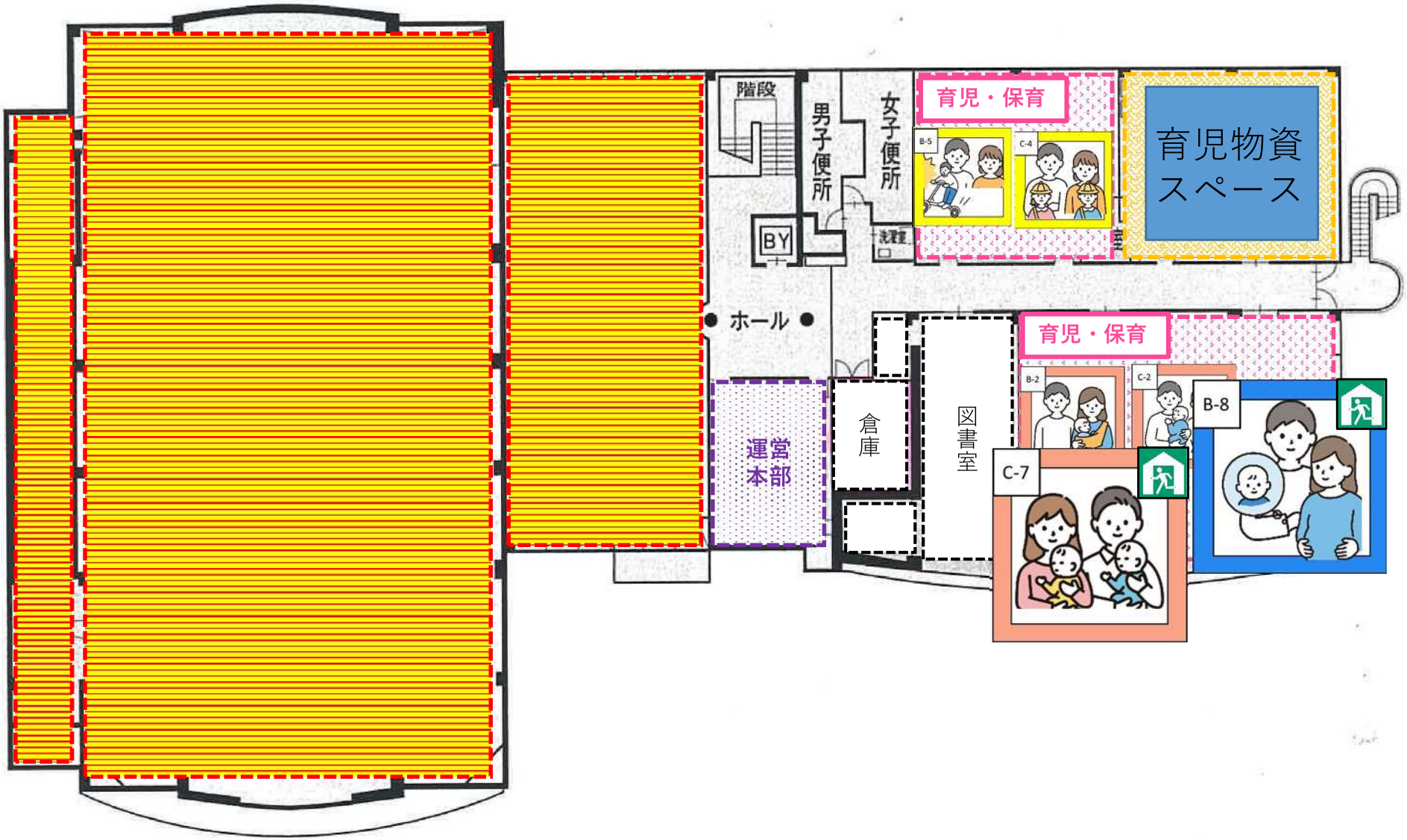
人数　男２１人　女１４人のため
地区A～Cのローテーション
１日２回　３か所への当番制

実働できる人にお願いする

白鳥コミュニティセンター１階



白鳥コミュニティセンター２階



E

No. 1　要配慮者支援班の課題

動線が狭く、車いすでの移動が難しい。

課題を細分化すると…

ポイント

常に一定以上の幅を確保し、施設の必要な場所まで移動できるようにする。

解決に向けての方向性

①確保する通路スペースを明示する。

②避難者全体に、区切ったスペースの意図を周知し、物を置かないことを徹底させる。

解決策

E

No. 2　保健・衛生班の課題

同行避難してきたペットのスペースが、ごみ収集車の作業場所に近いため、ペットのストレスになっている。別の場所への移動を検討したい。

ポイント
　ペット受入場所とごみ収集車が干渉しないようにする。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①ペット受入場所とごみ置き場の位置の再検討

②ごみ収集車の作業ルートを決める。

解決策

①ごみ置き場を正面に移動し、ペットを刺激しないようにする

②駐車場から入って近くなったことで、収集しやすくする

E

No. 3　保健・衛生班の課題

避難所開設後数日たったこともあり、体調不良者が出始めた。避難者が健康に生活できるよう工夫したい。

ポイント
何をいつ行うか、どこで行うかなどを定める。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

①換気や運動などの内容、場所、時間の設定。

②避難所の健康管理スペースの設置。

解決策

①時間を決めて換気を行う。窓や扉を開けたり、出入口付近に扇風機を使用する。

②ふれあい交流ホールのスペースを利用（ラジオ体操）

E

No. 4　区長、自主防災会長、保健・衛生班の課題

トイレの清掃に関して、保健・衛生班のみでは他の業務もあり、負担が大きい。

課題を細分化すると…

ポイント
　トイレ清掃は男女１名づつ出す必要がある。

解決に向けての方向性

①自主的に協力してくれる人を探す

②地区ごとでローテーションを組む
（各家庭の背景を知っている）

解決策

①地区ごとで相談（代表者がいる）
各家庭の状況を配慮しながら、当番制
各フロアごとに当番がいる。
　　１日２回　朝、夕に行ってみて、汚れ具合等大丈夫か話し合う
当番カードを作成する

E

No. 5　食料・物資班の課題

食料に不足が出ないよう、
１日の消費量を把握したい。

課題を細分化すると…

ポイント
　食料は人数×３食、乳児は１日に粉ミルク１箱（10回分）で計算する。

解決に向けての方向性

①地区ごとでまとめる

解決策

①地区ごとで名簿等を利用して、人数を把握。
追加で避難してきた場合、もれなく総務班へ連絡し、連携をとる。

E

No. 6　食料・物資班の課題

隔離された授乳スペースの確保がしたい。また手間を省くため、育児保育に係る物資はそのスペースの近くで管理したい。

ポイント
　スペースや資機材を活用していく。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

解決策

２階のスペースに近い図書室を授乳室にし、
一人用のテントを設置する。

物資は調理室に入れ、ミルクを作るなど出来る場にする

E

No. 7　食料・物資班の課題

支援物資で衣類が届くので、必要数を回答したい。男女ごとや、乳児、幼児など、それぞれでいくつ必要か教えてほしい。

ポイント
地区別避難者リストにある住民構成を用いて考える。

課題を細分化すると…

解決に向けての方向性

解決策

舞台上に集め、見やすく箱等から出す。
種類やサイズを等で分別しておく。
ほしい人が見に来て取りに来る。